

スポーツには 世界と未来を変える 力がある

表題の言葉は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの大会ビジョンです。このビジョンに続いて「1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020 東京大会は『すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）』『一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）』『そして、未来につなげよう（未来への継承）』を3つのコンセプトとし、史上最もイノベーティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。」と書かれています。前の大会から半世紀余りを経て行われるこの大会は、日本をどのように変えるのでしょうか。2年後に行われる大会が今から楽しみです。

さて、この大会に向けて、最終候補として3つのマスコットが選ばれ、全国の小学生が投票で決めることはご存じのとおりです。本校でも、1月に各学級でオリンピック・パラリンピックについての話をしたり、マスコットのデザインだけでなくそれぞれのキャラクターの特徴や大会に向けての思いを伝えたりしました。そして、各学級でそれぞれのキャラクターがこの大会のマスコットとしてふさわしいかを話し合って1つのキャラクターを選び、小学生投票に参加しました。本校の22学級が投票した結果は、以下の通りでした。



(ア) 12票



(イ) 8票



(ウ) 2票

子どもたちからは、キャラクターを選んだ理由として「かっこいい」「新しい感じがする」「瞬間移動できるのがおもしろい」「日本の伝統的な模様が使われている」「互いに信頼し合って助け合っていていい」「世界中からいろいろな人が集まって仲間意識が高められそう」「ライバル関係というのがよかった」「タヌキと狐が日本らしい」「四季を感じ日本らしさを大切にしている」「水引や紅白がめでたい感じ」などの意見が聞かれました。また、この投票への参加について、担任からは「普段スポーツをあまりしていない児童も、このような形で関心をもてるのは良いと思った」「デザインだけでなく、性格やストーリー性があるのがおもしろい」「子どもなりによく考えて決めていた」などの感想が聞かれました。全国からの集計結果が出るのは、2月下旬だそうです。どのような結果になるかみんなで心待ちにしています。

今月9日（日）～25日（日）の期間、平昌で第23回オリンピック冬季競技大会が開催されます。平昌2018パラリンピックは、3月9日（金）～18日（日）に開催されます。開閉会式のコンセプトは「平和と未来」だそうです。スポーツにより、世界中のすべての人々に「平和」で明るい「未来」が築かれることを願い、応援したいと思っています。

校長 今村 ひろみ